



2014年トレンド予測

進学領域

キーワード

いつでも、どこでも、何度でも。
スマホで、スマートに勉強！

スマ勉



- ・スマートフォンを使って、勉強をする高校生が増加している。
- ・海外では、大学教育のオープン化や単位認定、高校生の受験勉強への活用が進んでいる。
日本では、これまで社会人の活用が進んできたが、今後は高校生にも波及。
- ・高校生が受験勉強で活用するようになった背景としては、
①デバイスの普及 ②デバイスへの親和性 に加え、
③受験勉強に対する4つの「不」 (①距離、②時間、③価格、④品質)
- ・スマ勉のメリットとしては、いつでもどこでも（即時性）、
何度でも（反復性）低料金で高品質な授業を、利用できること。
ここ1～2年でサービスも増加し、高校単位で授業として導入する例も出てきている。

大学の講義のオープン化が受験勉強に拡大。
海外の先行事例が日本にも波及している。

大学講義のオープン化（MOOC） の登場

- 世界の大学550以上の講義を、無料で受講できる大規模公開オンライン講座。すでに700万人以上が受講。
- 2013年2月に東京大学がcourseraに、同年5月に京都大学がedXに参加表明。
- 日本版MOOC（JMOOC）の発足



Udacity Blog: [http://bit.ly/1444404](#)

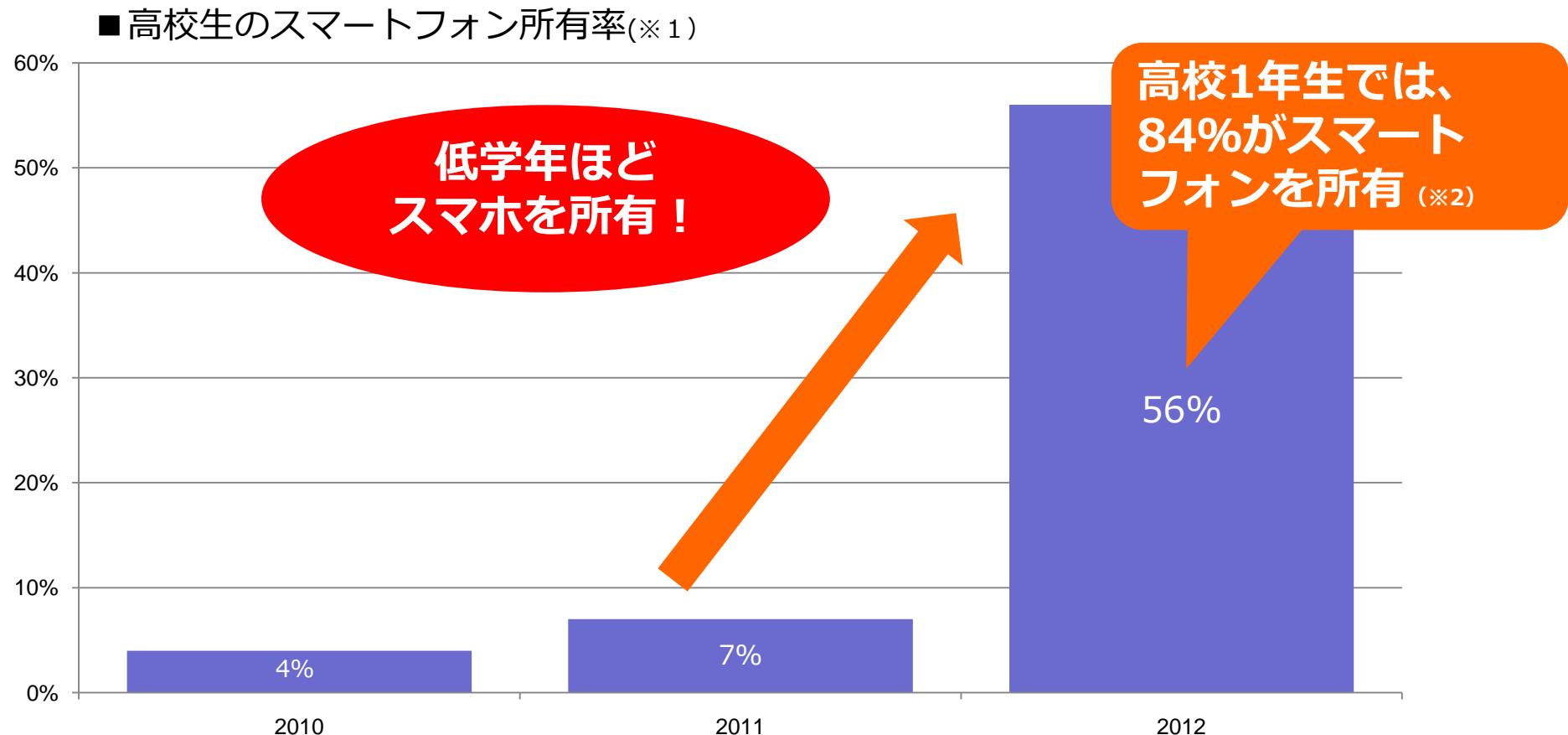
Testimonials

韓国ではオンライン予備校 Megastudy が業界No.1に

- 成功の要因は、タブレット端末が普及したことに加え、有名講師陣の授業が低価格で受けられること



高校生のスマートフォン所有率は6割弱。
経年で大幅に増加している。



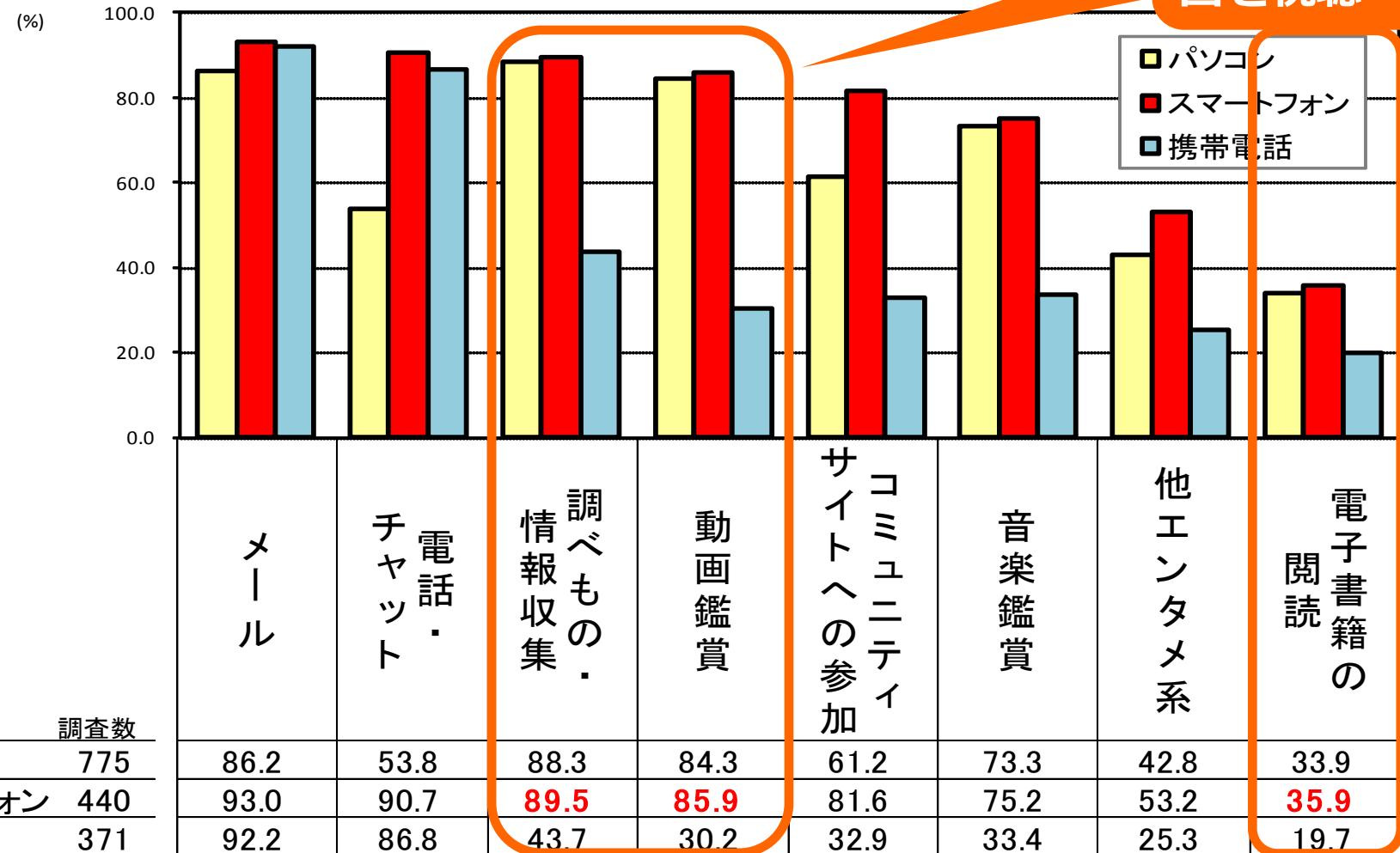
※1 内閣府調べ（2012年11月時点）
※2 総務省調べ（2013年6~7月時点）

環境の変化② スマートデバイスへの親和性

高校生にとってのスマートフォンは
「手の中のパソコン」であり、使いこなす世代

■パソコン、スマートフォン、携帯電話の利用目的

86%の高校生がスマートフォンで動画を視聴



受験勉強の4つの「不」

受験勉強には、4つの「不」が存在する。

受験勉強の4つの「不」

①
距離

近くに
塾・予備校
がない

②
時間

時間がない
忙しい
(部活など)

③
価格

お金が
かかる

④
品質

いい講師が
いない、
教材がない



「スマ勉」のメリット

「スマ勉」のメリットは、
低価格で高品質な授業を、効率的に利用できること。



「スマ勉」の現状① オンライン学習の利用率

オンライン予備校「受験サプリ」でも、約7割がスマートフォンからの利用。

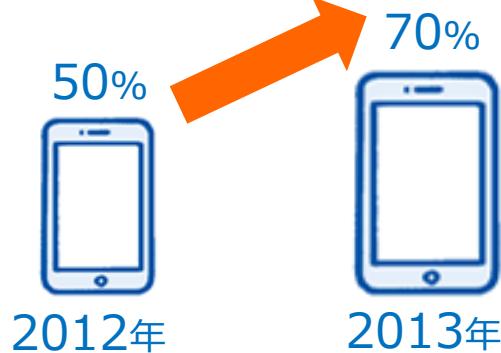
- 受験生20万人が利用している
オンライン予備校「受験サプリ」（リクルート）の例



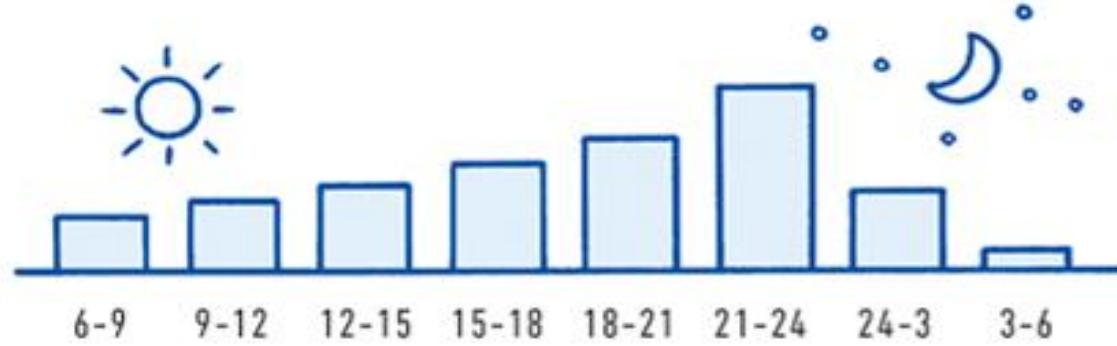
スマートフォンからの
利用が約7割（昨年は5割）

家だけでなく通学時間や昼休み、
放課後にも利用されている

利用環境



利用時間



この1～2年でスマートフォン向けサービスが急増。
無料あるいは低価格で提供されるものが多い。



事例①

スマホのアプリで「すきま時間」+「ながら時間」も勉強

ナオさん（宮城県：私立高校2年生）

スマホ
ネイティブ世代
の勉強法！



- 勉強アプリは15個ほどダウンロード。
- バスでの通学時間などの「すきま時間」に加え、テレビを見ながら、ご飯を食べながらの「ながら時間」に利用。

■よく使う勉強アプリ

『英単語1800』(無料)

- 発音が音声で聞ける英単語アプリ
- 間違ったところだけ何度も確認テストできるのがよい

STAGE 16
No.1501~1600

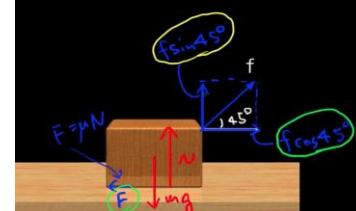


最高の；最も重要な
例文
a matter of supreme importance
最重要問題
解説
superの最上級。「最高の」のほかに「最も重要な」という意味もある。アクセントに注意。

『ロバスト物理』(無料)

- 物理の公式や問題を、実験の動画や運動シミュレーションの解説付きで学べるアプリ

物体が動き出すときの外力fを求めよ。
静止摩擦係数を μ 、物体の質量をmとする。



- 実際の動画で見ると動きがわかりやすく、公式を丸暗記するよりも理解が深まる

事例②

授業の補習・自習教材として、 オンライン予備校を導入する高校

岡山龍谷高等学校（岡山県）

【導入概要】

- 新設された「R(龍谷)アカデミア室」にiPadを設置。
- オンライン予備校「受験サプリ」を、
授業の補習・自主教材として利用。

【導入の目的・狙い】

授業の補助教材として利用することで、
先生の発想や生徒のペースに合った授業展開が可能に。

「教師が英文を書く時間などは短縮。講義の重要な箇所は、教師による二重解説を行ったり、大学の過去問を映し出して、比較検討したりしています。教師自身が新しい発想で活用法を考えており、生徒の発想力も伸ばすことができます」（先生）

【導入後の変化】

「習慣化しやすく、生徒の学習サイクルの一部として自然と組み込まれていると思います」（先生）



事例③

**予習でオンライン講義を視聴、
授業ではグループ学習などを実践
(反転授業)**

近畿大学附属高等学校（大阪府）



【導入概要】

- ・2013年4月より、iPadを新入生1,048人全員に導入。
- ・数学と英語の一部授業では、**予習として家で講義のビデオを視聴させ、授業中にはグループ学習などを行う「反転授業」を実施。**

【導入の目的・狙い】

- ・単なる知識伝達はネットで効率化。**授業時間はグループ学習を通じて、自主的に学ぶ力を育む。**
「生徒には単なる学力ではなく、自主的に学ぶ力やコミュニケーション能力など、社会で必要な力をつけてほしい。基礎的な知識は自宅で学び、授業ではグループで議論や発表をして、理解を深めています」（先生）

【導入後の変化】

- 「生徒からも**自主的に質問が出るようになる**など、意識が変わったように感じます」（先生）
「**皆で教えあう**ので、普通の授業だと質問しにくい所が聞けて、**苦手意識がなくなった**」（生徒）
「他のグループに聞きに行ったりして疑問を解決しています。一方的に教えてもらうより記憶に**残っています**」（生徒）